

第 63 回 東葛しぜん観察会

夏休み！ 虫と遊ぼう in 金杉

岩根悦子（船橋市）

日 時：2010 年 8 月 1 日（日）9:30～12:30 天気：晴

場 所：船橋金杉市民の森～馬込霊園

参加者：大人 14 名、子ども 11 名 幼児 3 名 合計 28 名

講師 3 名 指導員 13 名

担当指導員：生田信一郎 岩根悦子 林 信子

テレビで熱中症による死者が毎日のように報道される日が続いていたが、ほてった道路から森に入ると、やはり森は涼しかった。

この観察会に初めて参加したとき、虫を受けとめるための傘を持った講師が、捕虫網を振り回しながら子どもたちの先頭になってチョウやトンボを追いかけ、虫かごにおさめ、最後に虫あわせをする。こんな観察会があるのだと驚いた記憶が今でも鮮明だ。そのスタイルは今回も健在だった。

3 人の講師を先頭に 3 班に分かれて出発したが、森を出る前にスズメバチに遭い緊張する場面もあった。「動かないように！」という注意を守って事なきを得たが、子どもたちの真剣な表情は忘れられない。ハチが飛び去り緊張がほどけた瞬間、逃げ出す子どもがいたが、懸命に怖さを耐えていたのだろう。

たくさんの昆虫をつかまえて「すげえ、こんなところ初めてだっ！」お父さんと参加の男の子が興奮していた。スタート 20 分後にはこの子の虫籠にはナナフシモドキが 3 匹も入っていたし、その後はオニヤンマやたくさんの昆虫を手にし、大満足の様子だった。森、田んぼ、斜面林、原っぱ、水辺とコースが多様で変化に富み、蚊に刺されながらも子どもたちは「探検みたいでおもしろかった」ようだ。

クイズもやってみようと欲張り「チョウの翅の表は？」と、翅を広げたチョウと閉じたチョウの写真を並べたクイズでは、翅を閉じた「裏」を子どもたち全員が「表」と答えたときは？！とびっくりした。でも私たち大人は図鑑や標本などを目にする機会が多いせいで翅を広げる姿を「表」と考えるので、「裏表なく美しい」が正解か？

最後は講師から船橋県民の森周辺で早朝捕まってきたカブトムシのおみやげがあり、子どもたち、特に男の子は満面の笑顔でした。

集合場所やコースにトイレや給水の場がないとの指摘があり、自販機や押借できそうなトイレを持つ施設の確認、さらに緊急連絡時の墓地の番地の確認など細かな点検をし、観察会が無事終わりほつとした。終了時間などを気にするうちに、用意したアンケート用紙を配るのを忘れてしまったのは少し残念だったが。



斜面林の下の湧水ではオニヤンマが産卵